田村青年会議所新聞

発行所
田村青年会議所
田村郡三春町南町84

昭和59年12月9日発刊　2号

発行責任者　宗像　哲夫
編集責任者　田中　孝敏

綱領

われわれJAYCEEは
社会的・国家的・国際的な責任を
自覚し志を同じうする者、相集い
力を合わせ青年としての英知と勇
気と情熱をもって明るい豊かな社
会を築き上げよう

JAPAN JCI TAMURA

来春の『ダイヤ改正』に生きた地域運動!!
生まれ変われるか！磐越東線!!

田村交通問題シンポジウムに六百人参加

田村地方町村会と田村青年会議所の主催で、田村地方交通問題シンポジウムが7月21・22日の2日間、三春町大林ホール、小野町勤労青少年ホームで約600人の参加者を集め行われました。

今回のシンポは廃止反対の為の集会ではなく、磐東線を利用して地域活性化の道を拓く提言をしてゆく集会であることをメインとしたため、国鉄側の臨み方もかなり力が入った。

先る11月15日発表された磐東線のダイヤ改正では船引↔郡山間の3往復が決定し『新しい磐東線』の利用に熱い視線が注がれている。

あいさつ

田村青年会議所理事長　宗像　哲夫

四年連続の冷害は、田村地方の経済活動に大打撃を与えました。それは気象の変化という人間の力ではどうすることもできない大いなる力によるものでした。しかし私達は失ったものよりも、この食物の氾濫するなかで美味しい「米」の大切さを知り、又ただ重なる冷害に立ち向った田村地方の農家の方々の精神力と四年間を耐え抜いた底力を知りました。おそらく今年こそは素晴しい米を穂らせるそという不屈の精神で何度となく苗を植えたに違いありません。

現在の田村地方は他地方との比較の中で豊かな地域だとは言えません。私達青年は21世紀へ魅力ある田村を目指す為に今年こそはという不屈の精神で取り組まなければなりません。

これからの田村を取りまく環境は捨てたものではないと思われます。郡山市を中心としたテクノポリス構想の汲及、福島空港の隣接地としての将来性、東北横断道路建設に依る高速の足の確保等々

以上の事を考え合せると今が田村改造の出発にふさわしい時だと思います。

そうなれば始めなければなりません。

たとえば、テクノポリスの受皿づくりや市町村の垣根を超えての福島空港促進運動への参加などです。

田村JCは、磐東線の存続を目指し交通シンポを開催しました。これは、在るものをよりよく利用しやすい姿にして、地域の活性化を図るべきだという考えに基いたものでした。交通シンポの議論の中から、具体的に浮びあがった提案に依り磐東線は生れ変わるかもしれません。しかしそれはそれを利用する住民があればこそのことで、変えて利用して残こそうという住民の意識、つまり不屈の精神が必要であると思います。

どうか皆さん活力ある21世紀の田村づくりは私がやりとげるという不屈の精神で21世紀までの15年を頑張ってみようではありませんか。

地域住民の利用意識の向上を……

国鉄本社常務理事　須田　寛氏

今回シンポジウムは多くの助言者の方々の協力ですすめられました。

国鉄本社常務理事（旅客局長）の須田寛氏をはじめ交通評論家であり朝日新聞論説委員である岡並木先生山形県で町営駅を実施している川西町の横沢三男町長、富男課長、田村の観光面からの助言をした日本交通公社の原重一氏、そして運輸経済研究センターの伊藤誠氏、以上の方々がそれぞれの立場から田村の磐東線問題に切り込んでいただきました。

特に須田常務の講演は、現在国鉄地方線の行方を握っているトップの話ということで、500人の聴衆を釘づけにしました。

須田常務は磐東線はここ数年は廃止にはならないと言いながらも、現在良い成績の線でも、地域住民がそれを利用しなければなくなってゆくし、又最悪の経営状態であっても地域住民の利用意識が高くなってくれば残る努力をするようになるでしょう……とそして乗りやすい磐東線にする為には①ダイヤの増発と同時隔定時発車。②必要なところに必要な簡素駅をつくる。等を早口に言い切った。須田常務の明快な話は1時間を非常に短かく感じるほど興味深いものであった。須田常務が田村に前期的な試みであり、感銘深いものがありました。

宗像委員長始め実行委員各位、地域の皆様に心より敬意を表するものであります。国鉄の現状を深く憂え、真剣に取り組み、また将来のヴィジョンも描いておられる実に素晴しい方で、教えられる所の多い得難い方との印象を強くしました。

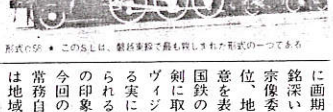
今回のシンポジウムに須田常務自らおいで下さった事は地域住民が磐越東線を如何にとらえているか、ダイレクトに国鉄首脳に訴えたという点で、磐越東線の将来に必ず良い材料になるものと信じます。

当田村地方は、県の中心部に位置しながら交通網の整備の立ち遅れが目立つ地域であります。基幹産業の葉たばこ耕作についても、私も懸命に取り組んでおりますが、それのみで地域経済が成り立つものではありません。企業誘致の最大の条件となる、高速交通体系に連なる道路網の整備こそ急務であります。

地域おこしシンポジウムを絶讃

参議院議員　佐藤栄作久氏

七月二十一、二両日に渉って開催された田村地方交通問題シンポジウムが大きな成果を収められました事誠におめでとうございます。若い皆様を中心に、現状を分析し将来への展望を拓かんとする、熱意に満ちた実



形式の少　●　このSLは、磐越東線で最も親しまれた形式の一つである

そのためにも、田村は東部中部、西部と独立しておりますが、道路網の整備については、全田村郡が一丸となって当る事が何より肝心だと考えます。おりしも田村青年会議所の設立を見、広い視野に立ちつつ地域おこし　に取り組む体制が整ったことは、誠に喜ばしい限りです。皆様の活動が大きな結実をみるように、私もともに進みたいと強く思うこの頃です。

田村JCの運動に期待!!

三春町町長　伊藤　寛氏

国鉄ローカル線廃止反対を叫ぶことはむずかしいことではないけれど、それで問題が解決するような単純な事柄ではなく、沿線住民も自治体も一諸になって真剣に取り組まなければならないという共通の認識が深まったことは心強いことであります。

田村青年会議所が積極的に役割を果していただいたことを心から有難く思っています。

さて、これから具体的に何をやっていくかでありますが。活性化対策として、いま村青年会議所の設立を見、広い視野に立ちつつ地域おこし　に取り組む体制が整ったことは、誠に喜ばしい限りです。皆様の活動が大きな結実をみるように、私もともに進みたいと強く思うこの頃です。

田村地方の地域開発のテコとして、力強く推進していくために、引き続き青年会議所の皆さんの若々しいエネルギーを発揮していただくことを、心から期待いたします。

磐越東線沿性化対策を、田村地方の地域開発のテコとして、力強く推進していくために、引き続き青年会議所の皆さんの若々しいエネルギーを発揮していただくことを、心から期待いたします。

磐越東線利用者の声

◎公的輸送機関の性格は…

◎待ち時間の短縮を……

▲私は田村郡の過疎地の都路村出身で都路村の古道小学校の母校に、もっか九年間勤めさせていただいております。宗像でございますが、都路村の子供達の事でございますのです、それでもこのような事情がある訳でございます。

船引高校において、こう言う訳ですから、双葉高、郡山高、むろん通う事は出来ませんから皆、下宿生活をしております。

また、船引町は比較的下宿料は安いんですが、双葉、郡山は少々高いようです。

これでは、この農村部の子供達は、憲法や、教育基本法でいわれる、子供の教育の機会均等なんて何もないのです、ですから国鉄のみなさん、福島交通のみなさん、私の思う事に乗り物は公的機関の性格を有する物で、すぐに赤字だからと、切ってしまっても良いのでしょうか、又私達も、もっと国鉄やバスの利用をもっと考てみるべきと考えます。

▲小野高の生徒代表と言う風な意味で、お話申し上げます。

小野高生は、八百四十名おりますが、全体の25%位列車通学生がいますが、やはり交通の便を考慮に入れて、授業を組み立ててなければなりません。

一般高校と比べると三十分以上の始業時間の遅れ、終業時間の遅れが出ております。昼の食事は十二時四十分からです。土曜日の半ドンですけども、これもほとんど汽車の乗者利用出来ませんで十二時三十二分の次は、十二時五十九分、ほぼ三時ですね、ほとんどの生徒が二時間以上待たなくては、なりません。

国鉄のみなさん、一般のみなさん、やはりぼくも一時間以内が限度と思います非行に走らないと自分自身で思っていますが、でも、待ち時間が少ないほうが良いと思います。

国鉄のみなさん考えてください「最後に一言」郡山から小野町まで四十五、五キロメートルですが一時間以上も時間がかかるので時間を10分でも20分でも短縮してくださる用ダイヤルを組んで見てくださいお願いいたします。

国鉄利用の具体的方策を!!

船引町町長　安瀬　明雄氏

磐越東線を存続していくためには、いかにして、利用増進を図っていくかが、緊急かつ重要課題であろう。

その上に学費、その他の金がかかります、都路村は田村郡でもいや県内でも高校進学率のもっとも悪い村でございますが、その内でも都路村は最も低い進学率なのです、それでもこのような事情がある訳でございます。

船引高校において、こう言う訳ですから、双葉高、郡山高、むろん通う事は出来ませんから皆、下宿生活をしております。

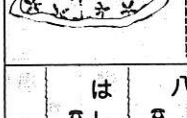
また、船引町は比較的下宿料は安いんですが、双葉、郡山は少々高いようです。

これでは、この農村部の子供達は、憲法や、教育基本法でいわれる、子供の教育の機会均等なんて何もないのです、ですから国鉄のみなさん、福島交通のみなさん、私の思う事に乗り物は公的機関の性格を有する物で、すぐに赤字だからと、切ってしまっても良いのでしょうか、又私達も、もっと国鉄やバスの利用をもっと考てみるべきと考えます。

▲小野高の生徒代表と言う風な意味で、お話申し上げます。

小野高生は、八百四十名おりますが、全体の25%位列車通学生がいますが、やはり交通の便を考慮に入れて、授業を組み立ててなければなりません。

一般高校と比べると三十分以上の始業時間の遅れ、終業時間の遅れが出ております。昼の食事は十二時四十分からです。土曜日の半ドンですけども、これもほとんど汽車の乗者利用出来ま



船引町もこれらに対して真剣に取り組んでいかなければならない。

その対策としては、まず国鉄当局も昭和六十年春予定の東北新幹線上野駅乗り入れによるダイヤ改正に際しては、当地方の実情に即したダイヤの大幅増発改正を行なってほしい。

町としては、住民が、磐越東線の現在おかれている状況を良く理解するよう努力し、鉄道利用の啓蒙をすることも必要である。

また、早急に国鉄利用友の会の結成を促進をしていくこと、管内小、中学校の修学旅行、社会見学等の際には、国鉄を利用してもらうこと、さらには例年実施されている「かたそね号」のような企画に対しても多くの人たちが、参加できるよう呼びかけていくことなど国鉄を利用する人が多くなるような具体的方策について、考え実行していかなければならないと考えている。

愛信堂株式会社　☎(0247)82-1917(代)
会株式社　秋田組　☎(0247)72-2191(代)
いまいずみ写場　☎(0247)62-2354
石橋ハマプラス株式会社　☎(0247)62-3121(代)
石川医院　☎(0247)62-2630
大澤園　☎(0247)62-3835
蒲生工業株式会社　☎(0247)82-2185
三和工業株式会社　☎(0247)82-2045
さくま薬局　☎(0247)62-2333
(有)白河屋金物店　☎(0247)72-3004
せんざき家具　☎(0247)72-3155
田村産業株式会社　☎(0247)82-0720(代)
大一建設株式会社　☎(0247)62-6024
会株式社　東京菊池商会　☎(0247)82-0608
永井鉄工所　☎(0247)78-2022
(有)中尾商店　☎(0247)62-2310
八文字屋　☎(0247)62-5757
はしもと住宅店　☎(0247)62-2811
アイウエオ順